

平成 25 年 3 月

指導者養成講習会報告

指導者養成委員長 佐々木剛

2月17日（日）、村山市民体育館において、平成24年度の指導者養成講習会が開かれました。昨年度から行われている協会の行事ですが、今年度は県内各地の指導者約40名の参加でした。

午前中の最初は、特別講師の鳳凰卓翔会指導者の高梨智明さんより、「トップへの指導」という題名で講義をしていただきました。参加者からは、「自主的に練習することでの向上心を高くする意識を持つことが大事だと思った。」「負けるはずがない！という自信をつけさせるかということが大切ということを学んだ。」「啐啄の機という言葉が心に残りました。」といった感想が寄せられました。また、「三部航平君の指導の体験談が非常に面白かった。」「経験者の話が聞けるのは本当に有意義でした。」という意見も頂きました。講師の高梨さん、誠にありがとうございました。



2つ目の講義は、元アジア選手権3位のヤマト株式会社（TSP）の仲村錦治郎さんの体験談でした。関西弁でのユーモアたっぷりの話に惹きつけられ、あっという間の時間でした。参加者からは、「台が1台しかないクラブでの練習で強くなった話を聞いて、ボールを打つことも大切だが、観ることも大切だということが印象に残りました。」「強い人に勝つためには、1つでも特化したものを持つこと、という言葉が印象に残りました。」「それぞれの子の特徴や好みを考慮して、戦型を決めてから、必要な技術を身につけていく方が良いという考えが非常にわかりやすかった。」といった感想がありました。小学1年生で始めてから、ナショナルチームを経験した方の話は、指導者にとって本当に貴重で勇気を頂く話でした。また、笑顔で話す仲村さんが、心から卓球大好きなんだなあと感じた参加者も多かったようです。ありがとうございました。



午後は、仲村さんからの実技指導でした。選手も一緒に講習会だと選手に打たせる時間もあるのですが、指導者中心の講習会でしたので、一台を囲んでの技術指導をねっづく丁寧に、3時間やっていただきました。世界の名だたる強豪を倒してきた一流の技術に、感心させられることばかりでした。



参加者の声は、「実際に見ることに加え、その技術を裏付ける考え方で聞くことが出来て大変勉強になりました。」「下回転サービスの出し方やコツの話は秀逸でした。正直あそこまで教えていただけるとは驚きでした。」「頂点をとらえることの有用性や足の運び方などを教えていただき、非常に参考になった。」などがありました。

今年度は、非常に寒く足もとの悪い時期に開催となってしまったことを深くお詫びします。それにも関わらず、昨年度を超える参加者の方に来ていただき、心より感謝申し上げます。卓球について、指導について考える有意義な時間を過ごしていただき、これからの指導に生かしていただければ幸いです。

「次回はぜひ、選手たちにも直接聞かせたい。」といった意見が多数ありました。開催時期や内容などを工夫しながら、来年度も行いたいと思います。今指導者をしている方のみでなく、今は選手としてもやりながら、将来は指導者としても関わろうと思っている方々にも、その時の指針になるような講習会にしたいと思います。また、多くの方々の参加をお待ちしています。